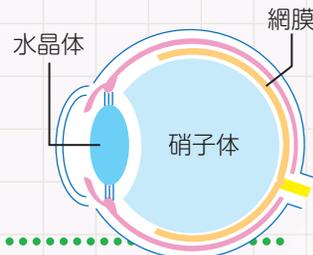




# より良い視力と 眼の健康を取り戻すために

当院の眼科では診療体制強化のため、手術室を増設し常勤医師も眼科専門医を2人に増員いたしました。これにより、より充実した眼科診療と手術を提供することができるようになりました。当院ではさまざまな眼疾患に対して治療、手術を行っておりますが今回は**白内障手術、硝子体手術、緑内障手術**についてご紹介させていただきます。

眼科では**白内障手術、低侵襲硝子体手術、低侵襲緑内障手術**により患者さまがより良い視力と眼の健康を得られることを目指しております。



## 物がかすんで見える、ぼやけて見えることが気になっていらっしゃいませんか？

### 白内障手術



白内障は目の中の水晶体というレンズが濁ってしまう病気です。主に加齢によって進行しますが原因は様々です。白内障が進行すると視力の低下や視界のぼやけを引き起こし、日常生活に支障をきたすようになります。白内障は白内障手術により治療が可能です。手術は短時間でほとんどの場合が点眼麻酔のみで行っています。手術後は早い方では翌日から視力が回復し明瞭な視界を取り戻すことが可能となります。白内障手術は視力を取り戻すために有効な方法です。眼内に挿入するレンズには様々なものがあり、術後に患者さまがどのような見え方にするかの選択肢が多くなってきています。当院では患者さまのライフスタイルや要望に合わせて最適な治療方針を提案してまいります。

## 視野の一部が欠けたり歪んだり、視力の低下を感じていらっしゃいませんか？

### 低侵襲硝子体手術



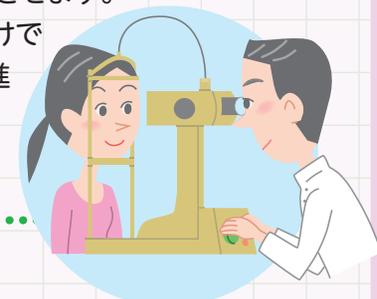
低侵襲硝子体手術は従来の硝子体手術に比べより小さな切開を行い、特殊な手術器具を使用することで手術の侵襲性を低減させることが可能となります。これにより手術に関連する合併症や回復期間を軽減できる可能性があります。また病状や手術内容によっては日帰り手術も可能となっています。硝子体手術の対象疾患は**裂孔原性網膜剥離**や**糖尿病網膜症**等による硝子体出血、**黄斑円孔**、**黄斑上膜**などがあります。硝子体手術の際には**白内障手術**との同時手術も可能です。硝子体手術は技術の進歩により安全かつ効果的になってきており、多くの患者さまに利益をもたらしています。しかし個々の症例によってはほかの手術方法が適切な場合もあるため手術適応に関しては病状、全身状態、患者さまの生活の状態、ご本人のご希望等により判断しています。

## 自分では気づかないうちに緑内障は進行しているかもしれません

### 低侵襲緑内障手術



低侵襲緑内障手術は緑内障治療の一種です。従来の緑内障手術よりも少ない侵襲で回復期間も短く合併症のリスクも低いとされています。緑内障手術の目的は眼圧を低下させ緑内障の進行を遅らせることです。低侵襲緑内障手術では小さな手術器具を使用し眼内から操作することで眼内の水の流れを改善させ眼圧を低下させます。白内障手術の際に同時に行うこともできます。ただしすべての緑内障の方に適しているわけではありません。病状によっては従来の緑内障手術が必要となる場合もあります。緑内障の進行度やほかの眼疾患の有無などの状態によって適応が異なりますので診断と手術の適応を適切に判断し治療方針を決定します。



今回ご紹介させていただいた手術以外にも当院眼科では様々な眼疾患に対応しております。患者さまのご要望に合わせた個別の治療方針を提案し、安心・安全な治療を実施いたします。ご不明な点などございましたらお気軽に眼科外来までご相談ください。

眼科部長 半田 恒明

➡ 次号は「地域で支える救急医療」です

- 8月1日(木)肺の日 ●8月1日(木)～8月31日(土)食品衛生月間
- 8月1日(木)～8月7日(水)栄養週間 ●8月4日(日)栄養の日 ●8月5日(月)夏の土用の日
- 8月7日(水)立秋 ●8月8日(木)潤う瞳の日 ●8月10日(土)ホームヘルパーの日
- 8月11日(日)山の日 ●8月15日(木)終戦の日 ●8月21日(水)献血記念日

四字熟語

葵花向日(きかこうじつ)  
ひまわりの花、日に向かう。  
夏の点景。

■ 第209号 2024.8月  
■ 発行/ 済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院  
TEL.0568-21-0811(代表)

〒481-0004 北名古屋市長久西村前111番地  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp https://saishukan.com  
FAX.0568-22-7494



当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。